

## 弦が揺れると、僕は季節の風になる

+ 文 佐田大陸 text by Tairik Sada +

## 寝台特急

「寝台特急」という響きは夢とロマンに包まれている。そう感じながら今まで全く乗る機会がなく生きてきました。

2024年2月現在、日本を走っている寝台特急が何台あるかご存知でしょうか。正解は岡山で分岐をする「サンライズ瀬戸・出雲」号ただ一つです。サンライズ瀬戸・出雲のチケットは、乗車日の1カ月前の朝10時から全国のみどりの窓口で一斉に発売されます。

1月26日に高松公演があり、それに気がついたのが1カ月と少し前。思い立ったが吉日、これを使わない手はないと寝台特急で行くことを決意。せっかくだから、ゆつくりと個室で行きたいなどと思い調べると、A寝台とB寝台に分かれている。一番良い座席がA寝台のシングルデラックス。その下のB寝台はシングルツイン、シングル、ソロとある。

よし、ここは奮発してシングルデラックスを取ろう！と念のため、乗車日の1カ月前の朝10時にみどりの窓口に行く。「東京ー高松間でシングルデラックスをお願いします」と駅員さんをお願いすると、耳を疑う返答。「もう無いですね：」。

甘く見ていた。サンライズ瀬戸号のシングルデラックスは6席しかなく（内禁煙3席）そこに乗りたい人が想像以上に多く、発売日に席取り合戦を

していたのだ。なんと帰りの日もシングルデラックスは取れず、悔しかったのもう一泊する覚悟で次の日にまたトライ。

気合を入れて8時半には並ぶ。10分前に駅員さんが10時発売専用カウンターを空けてくださり、ようやくチケットをGet。公演が近付くと、遠足の前の日の子どものようにウキウキワクワクしていたが、サンライズ瀬戸号はなんと雪で欠航。新幹線は動いていたので新幹線のチケットを買い直すハメに（この時ほどトホホと思ったことはない）。

「だが大丈夫、自分にはまだ帰りのチケットがある」と言い聞かせて公演を終える。ゆつくりのんびり優雅に帰るつもりが、神は私にもう一つ試練を与えていた。

なんと駅員さんにサンライズ瀬戸と出雲を間違えて伝えていて、高松ー東京間を取ったつもりが、出雲ー東京を取ってしまったのだ。

やらかした：の一言に尽きる。だが取ってしまったものは仕方ない。

次の日は仕事もなかったため、これはもう何かの縁だと出雲市まで寝台特急を迎えに行き、そこから乗って帰って来ようと決心。

前日夜に岡山まで出て、次の日始発で「特急やくも号」に乗って出雲市まで行き、折角なので出雲大社を参拝。そしてようやく念願の寝台特急と対

面。帰路につくことができました。

肝心の寝台特急の感想を書く尺が全くなかったですが、それはそれは良かったです。乗った人だけが感じられる「趣」がありました。

寝台特急、あなたも是非いかがですか？

## profile

TAIRIK(たいりく) ヴァイオリニスト / ヴィオリスト / 作曲家

桐朋学園大学音楽部卒業、同大学院修了

ヴァイオリン & ピアノによる3人組インスト・ユニット「TSUKEMEN」を結成後、キングレコードよりメジャーデビュー。最新アルバム「HAPPY キッチン」など、リリースしたCDはクラシック・チャート1位を次々と獲得。国内にとどまらず、アメリカ、アジア、ヨーロッパなどで700本を超える舞台に立ち、50万人以上の観客を魅了。近年ではTSUKEMENに加え、古澤巖氏と結成した弦楽四重奏団「品川カルテット」、水谷晃氏と結成した「MIZUTANI × TAIRIK」も大反響を呼んでいる。

「徹子の部屋」「題名のない音楽会」「きょうの料理 栗原はるみのキッチン日和」など数多くのTV番組に出演。

SBCラジオ「TSUKEMEN TAIRIKの信 TAIRIK発見」毎週月曜 15:00 台にレギュラー出演中。

<https://tsukemen-music.com>

